



森と地域と仲間と成長する戸田商行

T O D A  S H O K O



名脇役としての木毛が 主役になるまで

森林率84%の高知県においても木毛業者は

「戸田商行」ただ1社。

その心には、大きな決意があります。

「日本最後の木毛屋になっても続けていきたい」

天然木が持つ、効果効能を余すことなく知って頂くため、
ロングセラーを大切にしながら、イノベーションへの道に
歩みを進めることも大切だと感じています。

可能性を秘めた素材だからこそ、
一人一人のお客様の声に耳を傾けながら、
新たなチャレンジをしていきます。

Michiko

取締役社長 戸田 実知子



戸田商行が紡ぐ3つのこと

「時」

明治天皇に献上する果物に使用したことが木毛の始まり。昭和36年に山仕だった創業者が起業。緩衝材として盛んに利用されましたが、石油系緩衝材の台頭により、現在、木毛専門メーカーは当社だけとなりました。

「素材」

高知県の原木を使用し、木毛の品質には創業当時から強いこだわりがあります。先代から培ってきた技術・知恵が受け継がれ、現在、環境保護のサステナブルな商品として見直されています。木毛という上質な緩衝材で包むことで、特別な商品として演出します。

「想い」

贈り物と共に歩んできた木毛。人と人、人とモノ、人と社会を紡いでいくという想いをこれからも提供していきます。木毛という素材から新たな価値を創造し、商品開発を行っております。新しい木毛の価値、可能性をお届けしていきます。

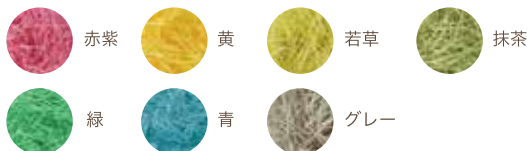


Q1 | もくめんって何？

木材を薄く削った緩衝材で、別称ウッドパッキン(wood packing)とも言われます。商品のクラス感を演出し、上品さ、生産者の優しさ、愛情を表し、その効果と共に、デリケートな青果、陶器等を天然素材で包む需要が好評です。ナチュラルもくめんに加え、現在、カラーもくめんがあります。木の種類も豊富で「松」「杉」「檜」「楠」から選べ、用途に応じて色数が豊富でその使用方法は無限大です。



スタンダードカラー



プレミアムカラー



Q2 | 薄さと幅ってどのくらいなの？

基本は、3種類のバリエーションがあります。



【小】

幅 : 1mm
厚み : 0.1mm

—— 使用例 ——

人形の詰め物、
皮の薄い果物



【中】

幅 : 1mm
厚み : 0.15mm

—— 使用例 ——

果物、ハム、
チーズ、陶器、瓶、
ワイン、日本酒



【大】

幅 : 1.5mm
厚み : 0.23mm

—— 使用例 ——

果物、瓶

Q3 | どんなことができるの？

もくめんの可能性は、無限大です。ぬいぐるみの剥製の詰め物や、鉢物植物のグランドカバー、ブーツキーパーなど、木毛が主役になるような商品作りにもチャレンジしています。



カラーもくめんを使用したリース

Q4 | どんな性能があるの？

【消臭性】

【楠の場合】
約 **92%**
減少

もくめん入りのフラスコに悪臭を投入し2時間放置した時の消臭試験を実施。その結果悪臭が約92%減少。消臭力が高いという結果が出ました。

※高知県工業技術センターで実施した実験結果です。

【吸放湿性】

【松の場合】
約 **6%**
吸湿

湿気の多い、少ない環境を察して自然に吸放湿しているかを木炭と比較実験。その結果、木炭が約1%吸湿に対して、もくめんは約6%という結果が出ました。

※高知県工業技術センターで実施した実験結果です。

【復元性】

100kgの
荷重をした場合
83%
の復元力

ビニール袋に500gのもくめんを袋詰めし、最大圧縮荷重を100kgに設定し、20mm/minの下降速度で試験体を圧縮する実験を実施。復元圧縮率が83%という結果が出ました。

※高知県工業技術センターで実施した実験結果です。

【安全性】

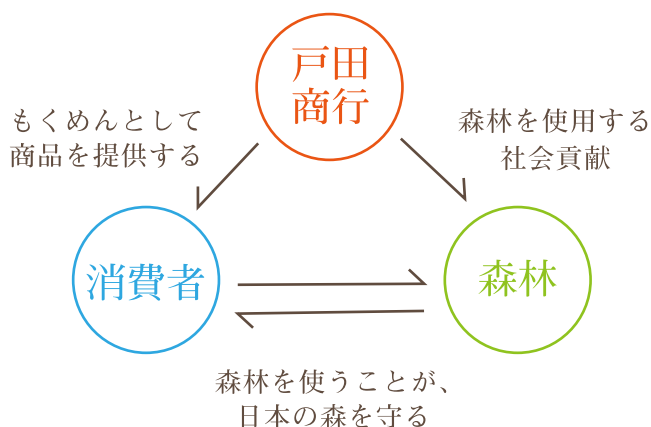
高知県産
天然の木
100%

国内産の天然木を使用しているので、食品の緩衝材にも安心してご使用頂けます。

※開封後は、しっかり封をして保管していただきますようお願い致します。

森を使う、森を守る。

国産の木材を使用する戸田商行のこだわり



①日本の森林には木が眠っています

現在、戦後の植林政策によって成長した木材が、伐採期を迎えています。

海外では森林破壊による砂漠化の問題があり、植樹されていますが、実は日本の森林では、木が余っているのです。

②『森を育てる』というサイクル

1954年から木材輸入が完全自由化され、日本の林業経営は厳しくなりました。昭和30年代には、90%以上あった国産材の自給率は20%にまで落ち込んでいます。手入れがなく森林が荒廃すると、台風や大雨による土砂災害や川や、海の生態系へも悪影響を及ぼします。伐採と間伐、それら手入れをして『森を育てる』サイクルが求められています。

③地域資源を社会に活かす

木材の活用は、根本に近く、球形が大きい箇所の一番玉と呼ばれる部分を建築材として使用、私たちは樹種によっては間伐材を利用し、使用しづらい2番玉の部分を利用しています。当社がある高知県の森林率84%は日本一。

私たちは主に高知県産材を使い、森林資源を活かし地域貢献していきます。

有限会社 戸田商行

〒781-1122 高知県土佐市本村580番地
TEL : 088-855-0426 FAX : 088-855-1278

E-mail : info@toda-shoko.co.jp
HP : <http://toda-shoko.com>